

## 6. 単元指導計画 (全16時間)

(本単元においてつきたい力)

課題を的確に捉える力	・全体を通しての課題は一つになるであろうと思われるので、九九の構成や性質を調べることに重点を置きたい。
既習事項を生かして解決していく力	・前時に出てきたいろいろな考え方を生かして、本時も同じように解決していこうとすることができる。
自分の考えを表現する力	・自分のノーに表示されていることを、順序よく分かりやすく説明することができる。「～を使って」と言うことができる。
仲間の考えを読み取る力	・仲間の考えについて、類似点や相違点なども言うことができる。「は・か・せ」「ま・っ・く」の見方)
分からなかったことが分かる力	・九九の構成の仕方や性質が分かり、九九を正しく唱えることができる。

(本単元における評価の観点)

関心・意欲・態度	・日常生活の中で九九を生かすことができそうな場面に関心を持ち、九九を構成することや唱えることに意欲的に取り組む。
数学的な考え方	・九九の構成の仕方や性質を、図などを用いて分かりやすく説明することができる。
数量の表現・処理	・乗法が用いられる場合について知り、それを式で表したり、その式をよんだりすることができる。
数量の知識・理解	・乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にでき、九九を正しく唱えることができる。

時 間	1	2	3	4	5	6	7	8
単元構成	ぜんぶでなんのりるかな	① か	け	算	かけ算がしをしよう	② 2 の 段	の 九 九	③ 5 の 段 の 九 九
ねらい	・具体的な場面を調べたり、具体物を用いたりして「1つ分の大きさのいくつ分」という意味を理解する。	・乗法の意味を捉え、乗法の式に表す方法を知る。	・乗法の立式が確実に出来るようにすると共に、乗法の答えは加法(同数累加)によって求められることを理解する。	・具体的な場面において、同じ数ずつある物をさがし、乗法の式に表すことの理解を深める。	・1つ分の大きさが2のとき、そのいくつ分について全体の数を求め、2の段の九九を構成することができる。また「九九」の用語とその意味を理解する。	・2の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えることが出来たり、適用したりすることができる。	・5のいくつ分かの大きさを求めて、5の段の九九を構成することができる。	
評価規準	・全体の数量を基準とする大きさのいくつ分としてとらえる。 ・全体の数量を基準とする大きさのいくつ分と表現できる。	・乗法の場面を式に表すことができる。	・被乗数を乗数の数だけ累加して答えを求めることができる。	・物の個数を乗法の式に表し、答えを求めることができる。	・2の段の九九を構成することができる。	・2の段の九九を唱えることや、それを適用して問題を解決することができる。	・5の段の九九を構成することができる。	
時 間	9	10	11	12	13	14	15	16
単元構成	5の段の九九	④ 3 の 段	の 九 九	⑤ 4 の 段	の 九 九	⑥ ばいとかけ算	れんしゅう	かけ算の九九をひょうじょうしよう
ねらい	・5の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えることが出来たり、適用したりすることができる。	・3のいくつ分かの大きさを求めて3の段の九九を構成することができる。「かけられる数」「かける数」の用語と、それらの意味を理解する。	・3の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えることが出来たり、適用したりすることができる。	・かける数が1ふえると答えが4ふえることを活用して、4の段の九九を構成することができる。	・4の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えることが出来たり、適用したりすることができる。	・もとにする量のいくつ分を「ばい」で表現することを知り、その大きさを乗法の式に表すことができる。	・乗法の立式と計算ができる。 ・2～5の段の九九の計算の適用ができる。	・2～5の段の九九を一つの表に表し、これらの乗法九九の答えの並び方にどんな決まりがあるかを見つけ、乗法九九の理解を深める。
評価規準	・5の段の九九を唱えることや、それを適用して問題を解決することができる。	・3の段の九九では、乗数が1ふえると答えが3ふえることや、「かけられる数」「かける数」の用語とそれらの意味が分かる。	・3の段の九九を唱えることや、それを適用して問題を解決することができる。	・乗数と積の関係を活用して、4の段の九九を構成することができる。	・4の段の九九を唱えることや、それを適用して問題を解決することができる。	・「ばい」という用語を用いたり乗法の式に表したりすることができる。	・かけ算を使って全部の数を求めることができる。 ・2～5の段の九九を正しく唱える	・2～5の段の九九の答えの並び方のきまりが、いくつか分かる